

担当医師



担当看護師



経過 月日 検査	入院日(治療前日) (/)	治療当日(治療前) (/)	(治療後)	治療後1日目 (/)	退院日 (/)
		治療前に体温・血圧・脈拍を測ります。 内視鏡室へ呼ばれる時間は、治療当日の直前までわかりません。便の状態や、内視鏡室の混雑具合により、お待たせすることがありますのでご了承ください。	病室に帰室後(治療終了後)と治療終了2時間後に、体温・血圧・脈拍・症状などの観察をします。	朝5時から6時前後に採血(血液検査)を行います。 朝9時前後にお腹のレントゲン撮影を行う場合があります。朝8時から9時の間は、病室のベッドでお待ちください。	
	普段内服しているお薬を確認します。 昼食後にピコスルファートナトリウム液を半量内服します。 19時頃より1粒の下剤(ニフレック)を内服する場合があります。約1時間かけて飲んで下さい。 21時頃に残りのピコスルファートナトリウム液を内服します。	朝6時頃より2粒(前日から内服を開始している場合は1粒)の下剤(ニフレック)を内服します。約2時間(1粒の場合は約1時間)かけて飲んでください。 吐き気などがある場合は、無理をせず看護師にご相談ください。 <input type="checkbox"/> 医師の指示により、下剤)を飲み終えた後1時間後に内服薬()を飲みます。 <input type="checkbox"/> 内服薬はありません。	夕方からは通常通り内服が開始となります。 	通常通りの内服となります。	
		10時頃より点滴を行いますので、その前までに検査着に着替えてください。	点滴は翌朝10時頃まで続きます。	点滴終了後、針を抜きます。	
	制限はありません。	治療前の制限はありません。	治療後はトイレまでは歩いて構いません。治療2時間後、体温・血圧・脈拍・症状を観察します。その後も出血しやすいため、トイレ以外はベッドで安静に過ごしましょう。	病棟内の歩行が可能となります。	
	シャワー浴ができます。化粧やマニキュアは落としてください。			シャワー浴はできません。体拭きをお手伝いします。	退院後、ご自宅での入浴は可能ですが、熱いお風呂・長風呂は出血しやすくなる恐れがあるので注意してください。
	夕食後(夜9時以降)の食事は禁止です。飲水は可能です。 入院時から治療前まではアメをなめること、ガムを噛むことのみできます。	1日禁食となります。 治療の前までアメをなめること、ガムを噛むことのみができます。治療後は翌日、医師が採血やレントゲン結果を確認するまでは何も食べないでください(アメ、ガムを含める)飲水は可能です。	治療2時間後、体温・血圧・脈拍・症状観察後、問題がなければ、水分摂取が可能となります。食事は、1日禁食となります。		
	病棟内オリエンテーション、および治療の説明を行います。	下剤内服後、便の状態を確認します。 無色透明・残渣物(カス)がなくなったら、治療ができる状態となります。 看護師が便の状態を確認しますので、流さずにトイレ内のナースコールを押してください。 状態により、医師の指示で浣腸等を行う場合がありますが、その際はご説明します。		退院後の生活についての注意点を説明します。	退院時に次回の予約表と診察券をお渡しします。 退院後は出血するおそれがあるため、お腹に力を入れる動作・激しい運動・仕事、遠出や海外旅行も避けてください。 便に血が混ざったり、腹痛などの症状がある場合は病院へご連絡ください。(平日AM12時までは消化器外来へ、その他の時間は救命外来での対応になります。必ず電話をしてから来院するようにお願いいたします。)
	手首にネームバンドを着用します。治療の同意書をお預かりします。	検査室へ行く前までに、入歯・コンタクトレンズ・メガネ・補聴器・指輪・時計・ヘアピン・かつら・湿布などの装飾品はすべて外します。 また、検査の直前に青い使い捨て紙パンツを着用します。使い捨て紙パンツは検査室で捨てるので、替えの下着を持っています。 検査室へ歩いて行きます。	治療後は看護師が車椅子にてお迎えに行きます。 治療後から退院までの間、トイレで血が少しでも便に混ざっていたら、流さずにトイレからナースコールをして看護師を呼んで下さい。		

上記のスケジュールにそっての入院生活になる予定です。予定は変更になる場合があります。ご不明な点は遠慮なくお尋ねください。
注)1 入院期間については、現時点で予想されるものです。